B760 GAMING PLUS WIFI

Motherboard

User Guide

Benutzerhandbuch

Manuel d'utilisation

Руководство пользователя

取扱説明書

사용 명서

使用手冊

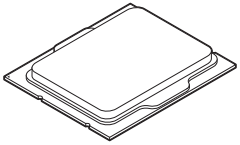
使用手册

目次

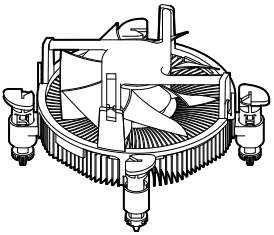
クイックスタート

この度はMSI®マザーボードをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このクイックスタートセクションにはコンピューターのインストール方法についてのデモンストレーションが表示されます。一部のインストールにはビデオデモンストレーションも提供されます。スマートフォンやタブレットのWebブラウザでURLにアクセスしてビデオをご覧ください。QRコードからアクセスすることもできます。

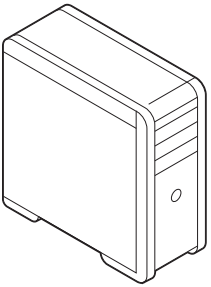
ツールおよびコンポーネントの準備



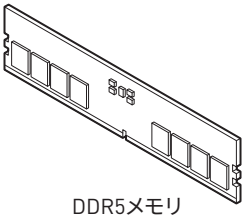
Intel® LGA1700 CPU



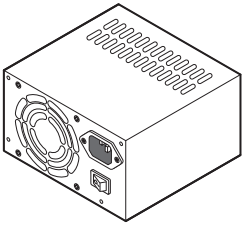
LGA1700 CPUファン



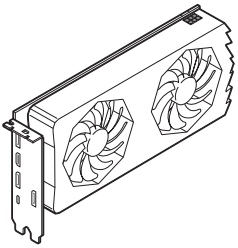
ケース



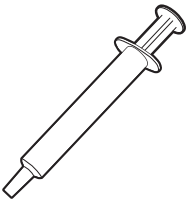
DDR5メモリ



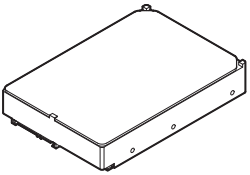
電源ユニット



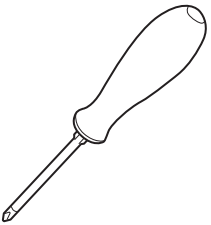
グラフィックスカード



熱伝導性ペースト



SATAハードディスクドライブ



プラスドライバー

ねじセット

安全に関する注意事項

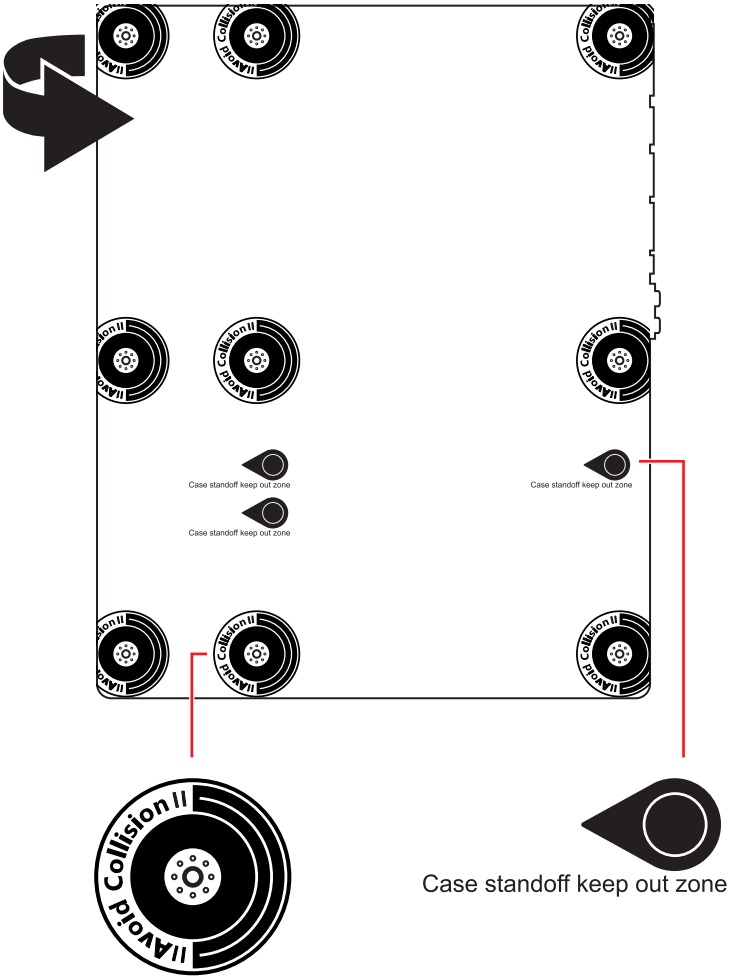
- 本パッケージ内のコンポーネントは静電放電(ESD)を受けやすいので、PCの組み立てを確実に成功させるために以下の注意事項を守ってください。
- コンポーネントがしっかりと全部接続されていることを確認してください。確実に接続されていない場合、コンポーネントの認識不良や起動不良の原因となります。
- 繊細な部品に触れないよう、マザーボードのフチを持ってください。
- マザーボードを扱う際には、静電気破壊を防ぐために、静電放電 (ESD)リストストラップを着けることをお薦めします。ESDリストストラップが用意できない場合は、他の金属製のものに触れて静電気を逃してからマザーボードを扱ってください。
- 本品を取り付けない時は、静電気対策が施された箱か、または静電気防止パッド上で保管してください。
- コンピューターの電源を投入する前に、マザーボードのショートの原因となる、外れたネジや金属製の部品がマザーボード上またはPCケース内にないか、よく確認して下さい。
- コンポーネントの破損やユーザーの怪我の原因となるおそれがあるため、組み立てが完了する前にPCを起動させないでください。
- PCの組立について不明な点がある場合は、販売店やメーカーのサポート窓口に相談してください。
- PCパーツの取り付けおよび取り外しを行う前には、必ずPCの電源をオフに、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 本ユーザーズガイドは大切に保存してください。
- 本マザーボードは湿気の少ない所で使用・保管してください。
- 電源ユニットをコンセントに接続する前に、電源ユニットに記載された電圧がコンセントの電圧に適合しているか確認してください。
- 電源コードは踏まれることがないように配線してください。電源コードの上に物を置かないでください。
- マザーボードに関するすべての注意と警告を遵守してください。
- 次のような場合は、販売店や代理店のサポート窓口にマザーボードの点検を依頼してください。
  - PCに水をこぼした場合。
  - マザーボードが高い湿気にさらされた場合。
  - ユーザーズマニュアルに従って操作しても、マザーボードが正常に作動しない、または起動しない場合。
  - マザーボードが落ちて破損した場合。
  - マザーボードに目に見える破損がある場合。
- 本品を温度が60°C (140°F)より高い場所に置かないでください。マザーボードが破損することがあります。

ケーススタンドオフの注意事項

マザーボードに損害を防ぐために、マザーボードの回路とPCケースの間に必要のない取り付けスタンドオフを取り付けないでください。使用者に注意するために、「Case standoff keep out zone」の標示(下図のように)がマザーボードの背面に付きます。

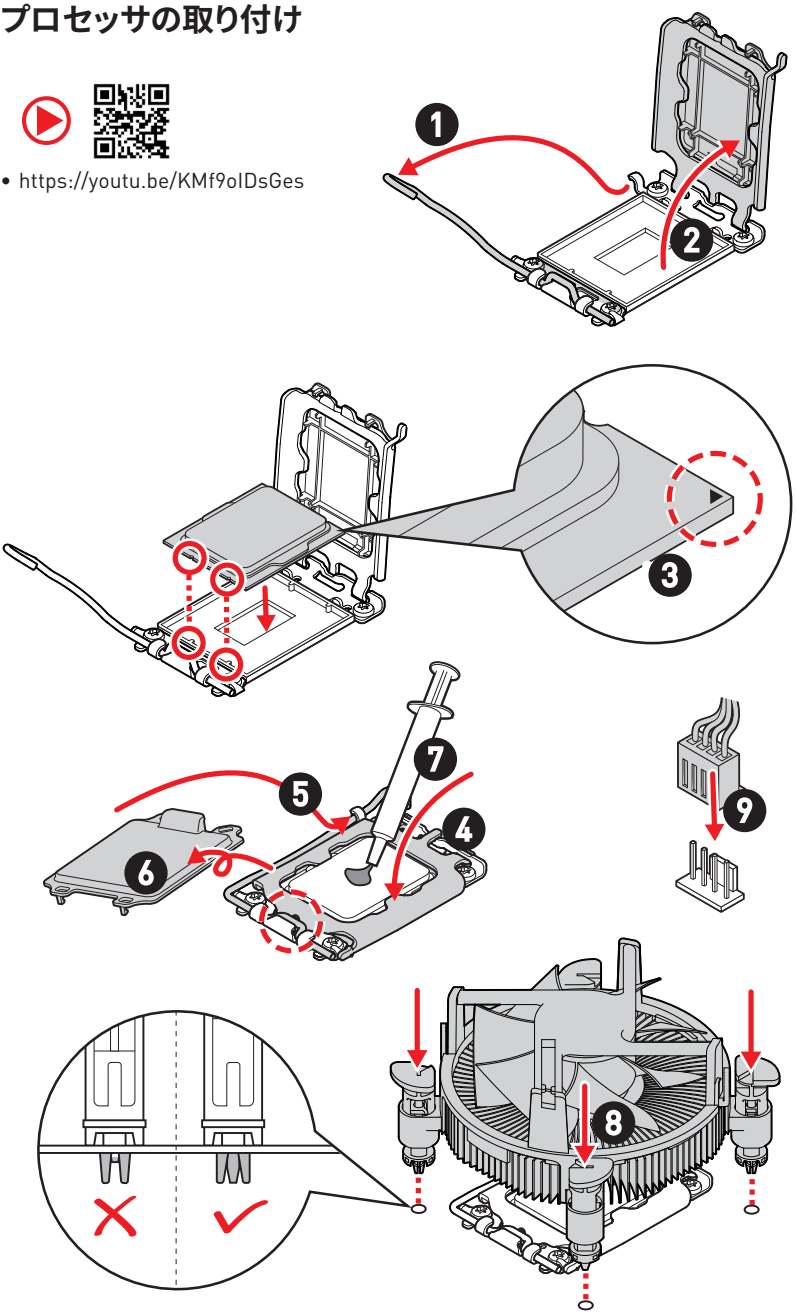
衝突回避の注意事項

部品を傷つけないように、各ネジの周りには保護ペイントがあります。



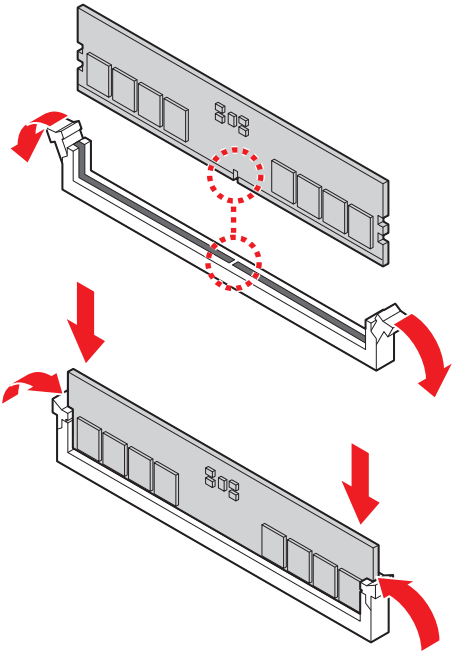
プロセッサの取り付け

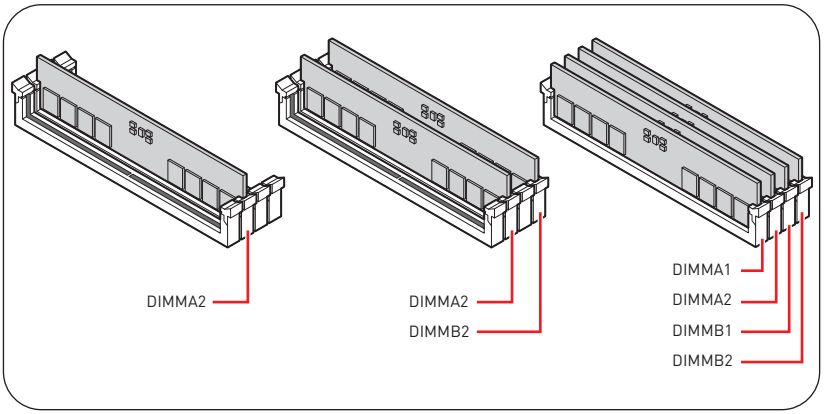
- https://youtu.be/KMf9oIDsGes



DDR5メモリの取り付け

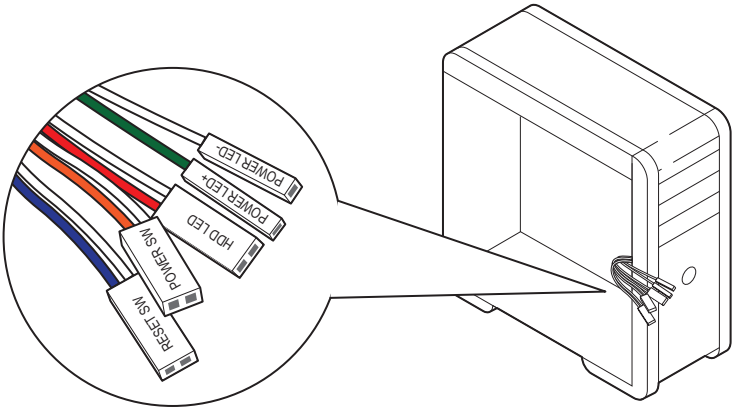
- https://youtu.be/XiNmkDNZcZk

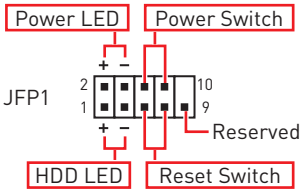


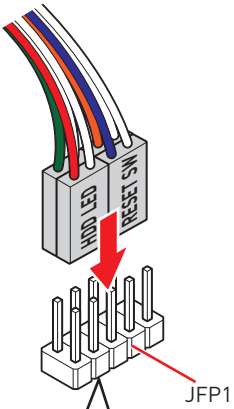


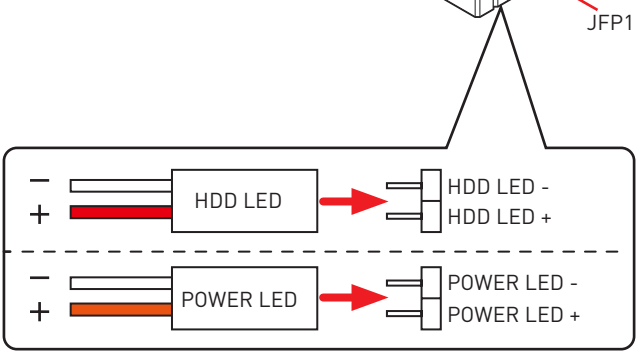
フロントパネルヘッダーの接続

- http://youtu.be/DPELIdVNZUI

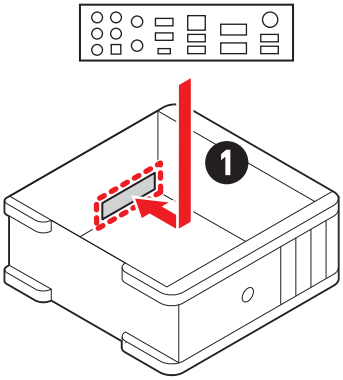




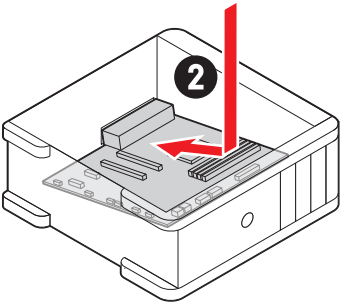


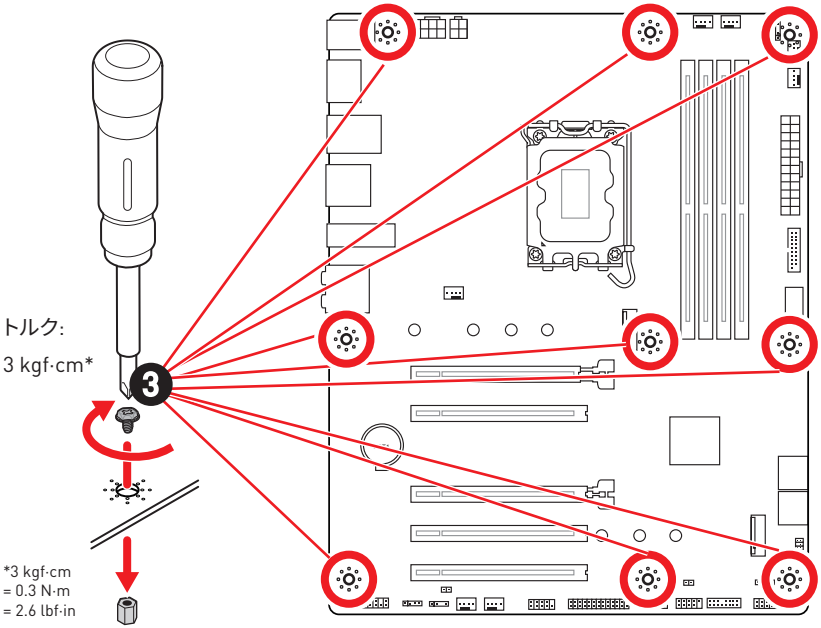


マザーボードの取り付け



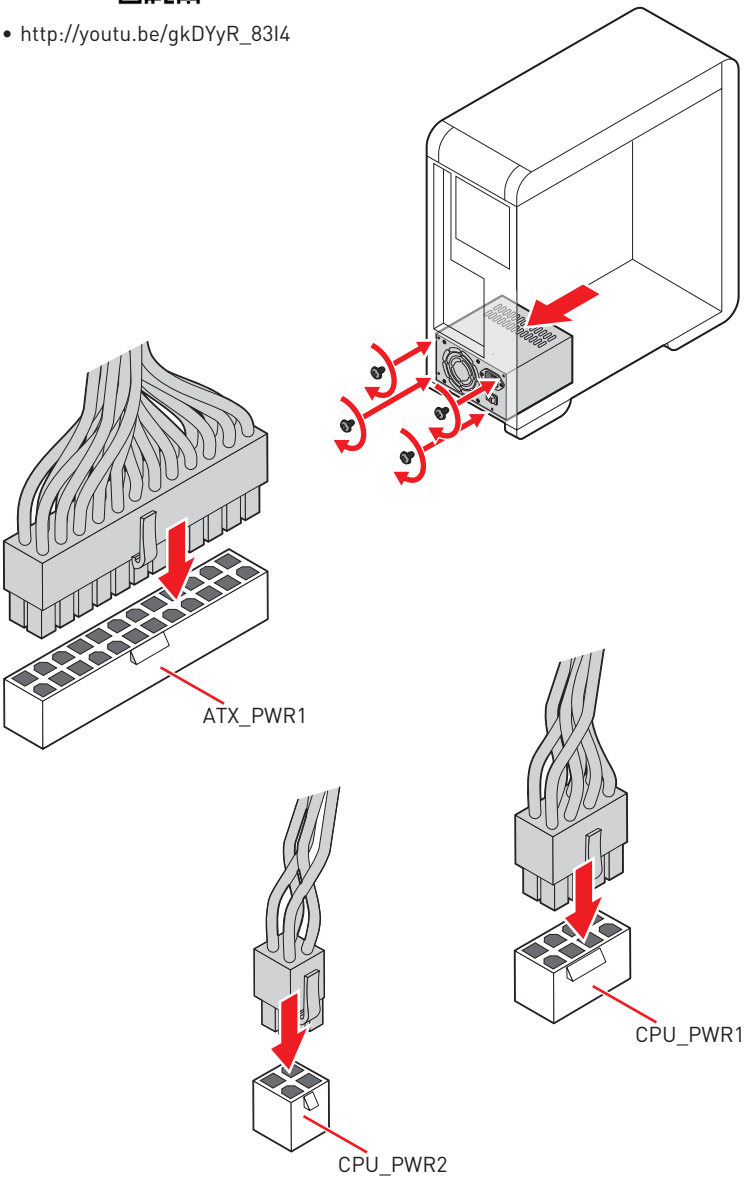
- https://youtu.be/wWI6Qt51Wnc





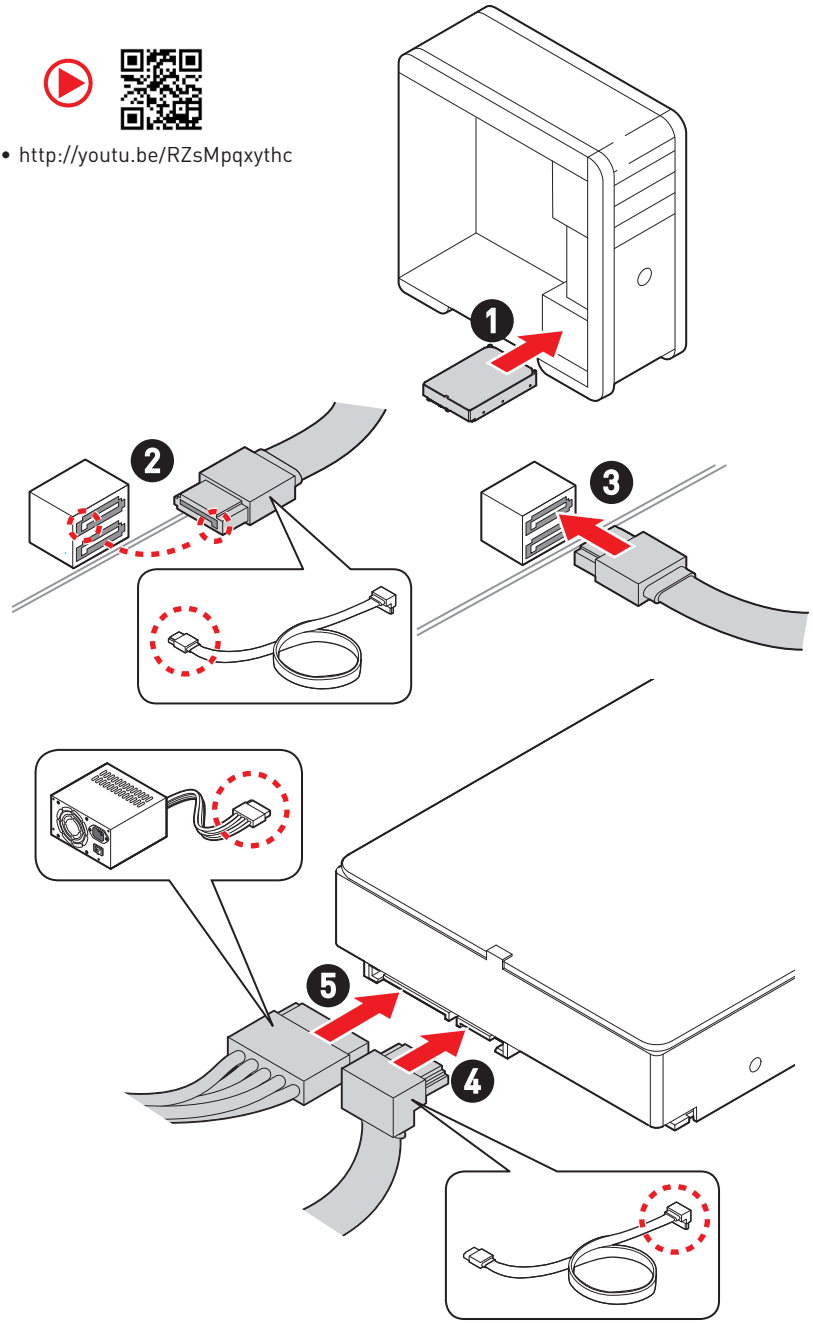
電源コネクターの接続

- http://youtu.be/gkDYyR_83I4



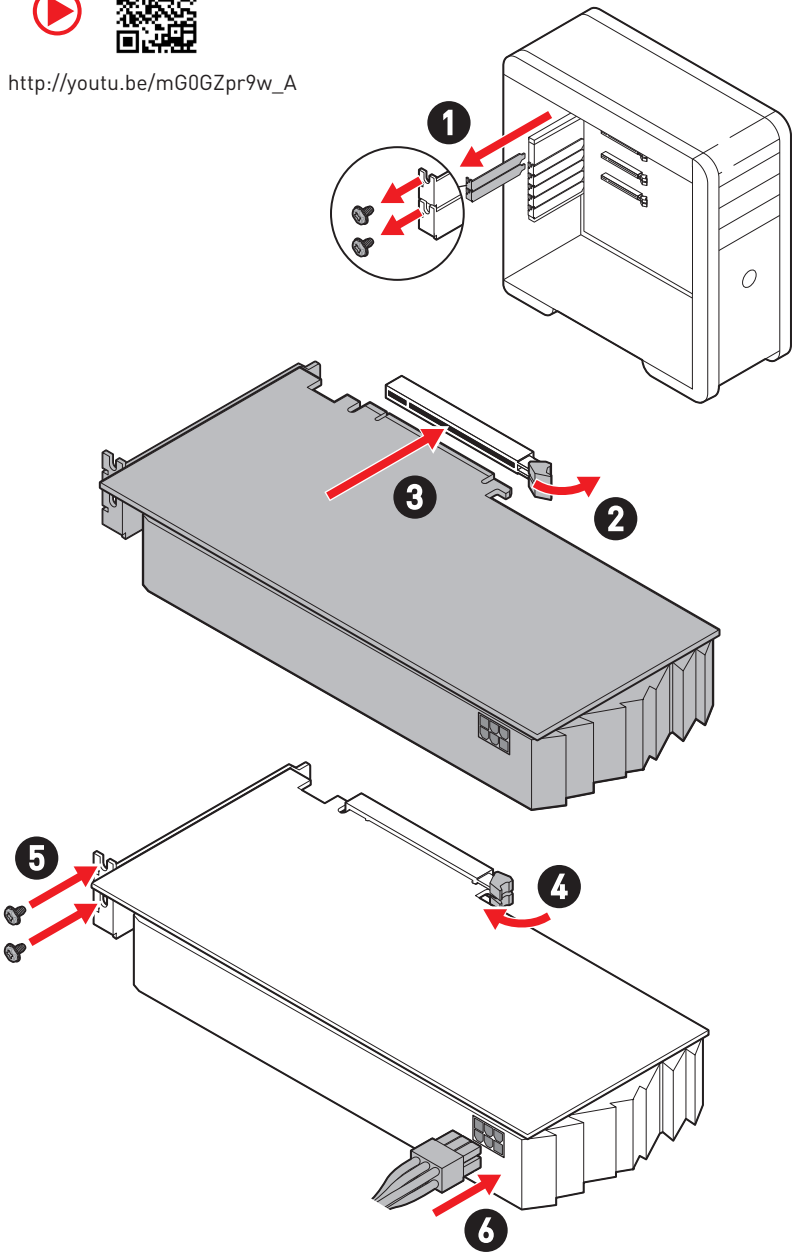
SATAドライブの取り付け

- http://youtu.be/RZsMpqxythc

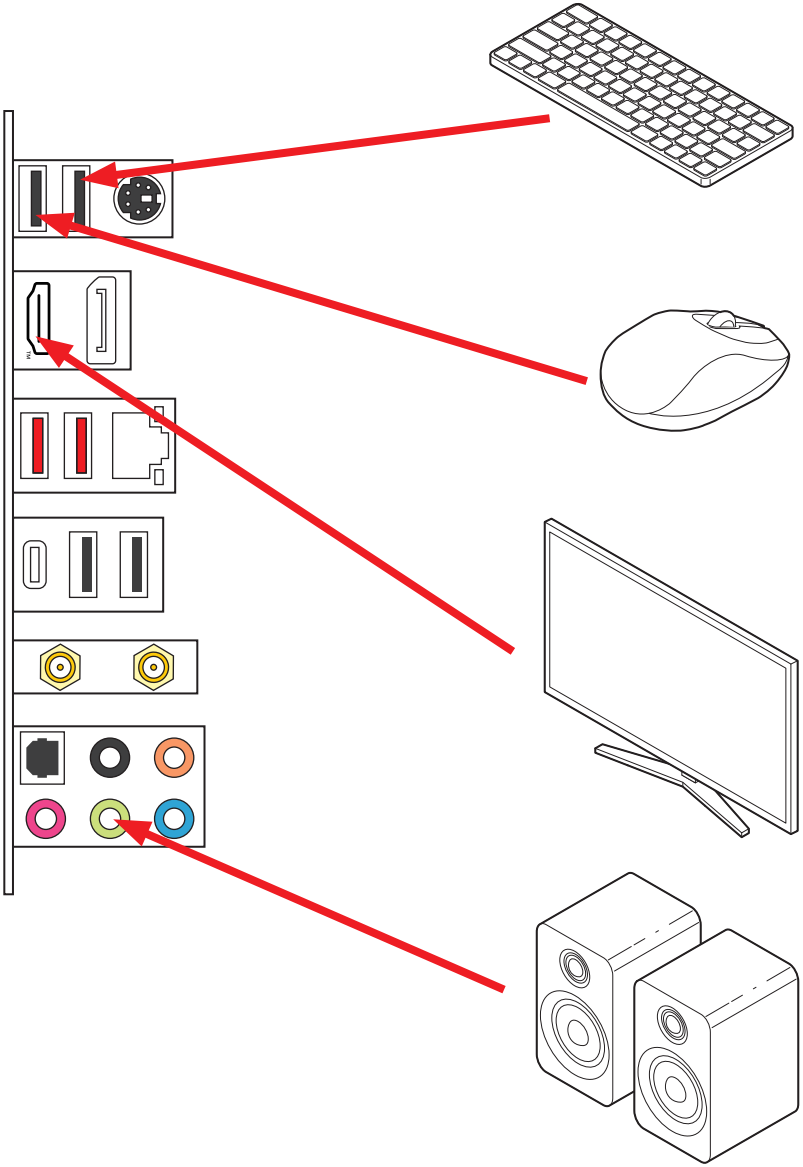


グラフィックスカードの取り付け

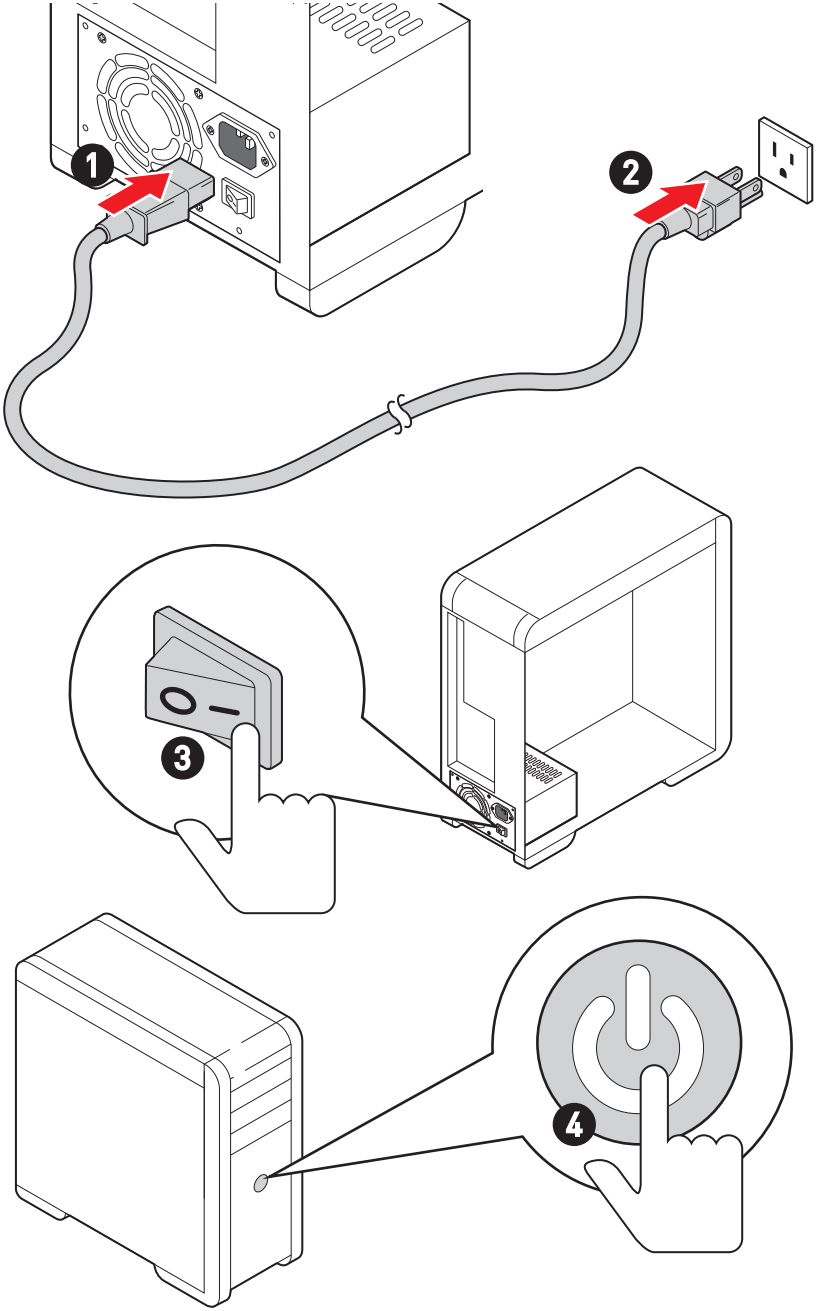
- http://youtu.be/mG0GZpr9w_A



周辺機器の接続



通電



仕様

CPU	• 第12/ 13世代Intel® Core™プロセッサ、Pentium® GoldとCeleron®プロセッサをサポート* • プロセッサーソケットLGA1700 * 新しいプロセッサのリリース後、www.msi.comにアクセスして最新のサポート状態を確認してください。
チップセット	Intel® B760チップセット

メモリ	• DDR5メモリスロット4本搭載、最大192GB搭載可能*
	• 1R 5600 MHzをサポート (JEDEC & PORによる)
	• 最大オーバークロック周波数:
	  • 1DPC 1Rは最大6800+ MHzの速度をサポート
	  • 1DPC 2Rは最大6600+ MHzの速度をサポート
	  • 2DPC 1Rは最大6000+ MHzの速度をサポート
	  • 2DPC 2Rは最大5600+ MHzの速度をサポート
	• Intel® XMP 3.0 OCをサポート
	• デュアルコントローラーデュアルチャンネルモードをサポート
	• non-ECC、un-bufferedメモリをサポート
	* 互換性があるのメモリについての詳細はwww.msi.comからご参照ください。

拡張スロット	• PCIe x16スロット x5
	  • PCI_E1スロット (CPU帯域接続)
	  • 最大PCIe 4.0 x16をサポート
	  • PCI_E2スロット (B760チップセット帯域接続)
	  • 最大PCIe 3.0 x1をサポート
	  • PCI_E3スロット (B760チップセット帯域接続)
	  • PCIe 4.0 x4をサポート
	  • PCI_E4スロット (B760チップセット帯域接続)
	  • PCIe 3.0 x1をサポート
	  • PCI_E5スロット (B760チップセット帯域接続)
	  • PCIe 3.0 x1をサポート

オンボードグラフィックス	• HDR付きのHDMI™ 2.1ポート x1、最大解像度4K 60Hzをサポート*/** • HBR2付きのDisplayPort 1.4 x1、最大解像度4K 60Hzをサポート */** * GPU内蔵プロセッサを使用している場合利用可能です。 ** グラフィックスの仕様は使用するCPUによって異なる場合があります。

次のページから続く

前のページから続く

SATAポート	• SATA 6Gb/sポート x4 (B760チップセット帯域接続)* * M.2 SATA SSDをM2_2スロットに取り付ける場合に、SATA8は無効になります。
M.2 SSDスロット	• M.2スロット x2 (Key M) • M2_1スロット (CPU帯域接続) • 最大PCIe 4.0 x4をサポート • 2242/ 2260/ 2280/ 22110ストレージデバイスをサポート • M2_2スロット (B760チップセット帯域接続) • 最大PCIe 4.0 x4をサポート • SATA 6Gb/sをサポート • 2242/ 2260/ 2280ストレージデバイスをサポート
RAID	• SATAストレージデバイスにて、RAID 0、RAID 1、RAID 5とRAID 10をサポート
オーディオ	Realtek® ALC897コーデック • 7.1チャンネルHDオーディオ • S/PDIF出力をサポート
LAN	• Realtek® 8125BG 2.5Gbps LANコントローラー x1
Wi-Fi & Bluetooth®	Intel® Wi-Fi 6E • ワイヤレスモジュールはM.2 (Key-E) スロットにプレーインストールされます。 • MU-MIMO TX/RX, 2.4GHz/ 5GHz/ 6GHz*(160MHz)をサポート、最大2.4Gbpsまでの速度をサポート • 802.11 a/ b/ g/ n/ ac/ axをサポート • Bluetooth® 5.3**、FIPS、FISMAをサポート * Wi-Fi 6GHzバンドはWindows 11のサポートに依存し、各国の規定によって異なる場合があります。 ** Bluetoothのバージョンは更新される場合があります。詳細はWi-Fiチップセットベンダーのウェブサイトを参照してください。
電源コネクター	• 24ピンATXメイン電源コネクター x1 • 8ピン+12V電源コネクター x1 • 4ピンATX 12V電源コネクター x1

次のページから続く

前のページから続く

内部USBコネクター	• USB 3.2 Gen 1 5Gbps Type-Cフロントパネルコネクター x1 (B760チップセット帯域接続)
	• USB 3.2 Gen 1 5Gbpsコネクター x1 (B760チップセット帯域接続)
	  • 2基の追加USB 3.2 Gen 1 5Gbpsポートをサポート
	• USB 2.0コネクター x2 (Hub-GL850G帯域接続)
	  • 4基の追加USB 2.0ポートをサポート

ファンコネクター	• 4ピンCPUファンコネクター x1 • 4ピンウォーターポンプファンコネクター x1 • 4ピンシステムファンコネクター x5
システムコネクター	• フロントパネルオーディオコネクター x1 • システムパネルコネクター x2 • ケース開放スイッチコネクター x1 • TPMモジュールコネクター x1 • パラレルポートコネクタ x1 • シリアルポートコネクター x1 • TBTコネクター x1 (RTD3をサポート)
ジャンパー	• クリアCMOSジャンパー x1
LEDの機能	• EZ Debug LED x4 • 4ピンRGB LEDコネクター x1 • 3ピンA-RAINBOW V2 (ARGB Gen2) LEDコネクター x2
バックパネルコネクター	• PS/2ポート x1 • USB 2.0 Type-Aポート x4 (B760チップセット帯域接続) • DisplayPort x1 • HDMI™ポート x1 • 2.5G LAN (RJ45) ジャック x1 • USB 3.2 Gen 2 10Gbps Type-Aポート x2 (B760チップセット帯域接続) • USB 3.2 Gen 2 10Gbps Type-Cポート x1 (B760チップセット帯域接続) • Wi-Fiアンテナコネクター x2 • オーディオジャック x5 • 光角型S/PDIF出力コネクター x1
I/Oコントローラー	NUVOTON NCT6687コントローラーチップ

次のページから続く

前のページから続く

ハードウェアモニター	• CPU/ システム/ チップセット温度の検知 • CPU/ システム/ ポンプファン回転速度の検知 • CPU/ システム/ ポンプファン回転速度のコントロール
寸法	• ATXフォームファクタ • 9.6 in. x 12 in. (244 mm x 304 mm)
BIOSの機能	• 256 Mbフラッシュ x1 • UEFI AMI BIOS • ACPI 6.4, SMBIOS 3.5 • 多言語対応
ソフトウェア	• デバイスドライバー • MSI Center • Intel Extreme Tuning Utility • MSI App Player (BlueStacks) • CPU-Z MSI GAMING • Norton 360 Deluxe • AIDA64 Extreme - MSI Edition

MSI独自の機能

MSI Center

- Mystic light
- Ambient Link
- Frozr AI Cooling
- User Scenario
- True Color
- Live Update
- Hardware Monitoring
- Super Charger
- Devices Speed Up
- Smart Image Finder
- MSI Companion
- System Diagnosis
- Smart Fan Control

冷却機能

- オールアルミデザイン
- 拡張ヒートシンクデザイン
- K7 MOSFETサーマルパッド / エクストラチョークパッド
- ファンヘッダー (CPU + PUMP + SYSTEM)

パフォーマンス

- Core Boost
- VRM電源デザイン (VCPU / VGT / AUX)
- デュアルCPU電源
- Memory Boost
- Lightning Gen 4 PCI-E / M.2スロット
- フロントUSB Type-C
- 2オンス厚の銅を採用したPCB

DIYフレンドリー

- PCI-E Steel Armor
- EZ DEBUG LED
- EZ LEDコントロール

オーディオ

- Audio Boost

RGB

- Mystic Light拡張 (RGB)
- Mystic Light拡張 (A-RAINBOW V2)
- Ambient Link

BIOS

- Click BIOS 5

パッケージの内容

パッケージにすべての添付品が含まれていることをご確認ください。

ボード

- マザーボード本体 x1

ドキュメンテーション

- クイック取り付けガイド x1
- 欧州連合規則 x1

ケーブル

- SATA 6Gb/sケーブル x1

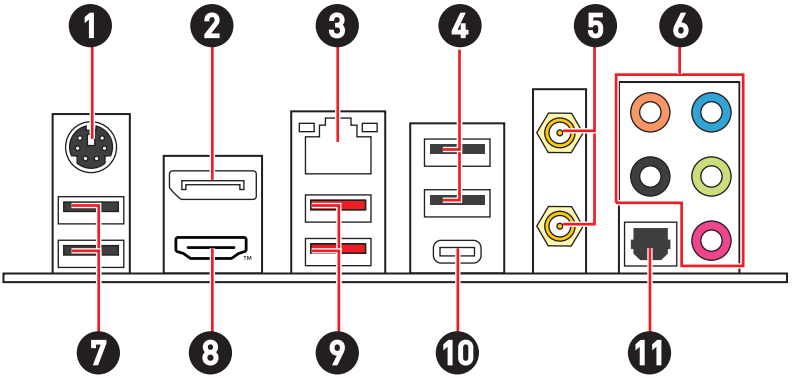
付属品

- Wi-Fiアンテナセット x1
- I/Oシールド x1
- M.2ネジおよびスタンドオフ x1 (1セット/パック)

注意

欠品または破損がある場合は、直ちにご購入された販売店へ連絡して下さい。

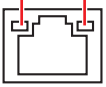
バックパネルコネクター



項目	説明
1	PS/2キーボード/ マウスポート
2	DisplayPort
3	2.5 Gbps LAN (RJ45) ポート
4	USB 2.0 Type-Aポート (B760チップセット帯域接続)
5	Wi-Fiアンテナコネクター
6	オーディオジャック
7	USB 2.0 Type-Aポート (B760チップセット帯域接続)
8	HDMI™ポート HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE
9	USB 3.2 Gen 2 10Gbps Type-Aポート (B760チップセット帯域接続)
10	USB 3.2 Gen 2 10Gbps Type-Cポート (B760チップセット帯域接続)
11	光角型S/PDIF出力コネクター

LANポートLED状態表

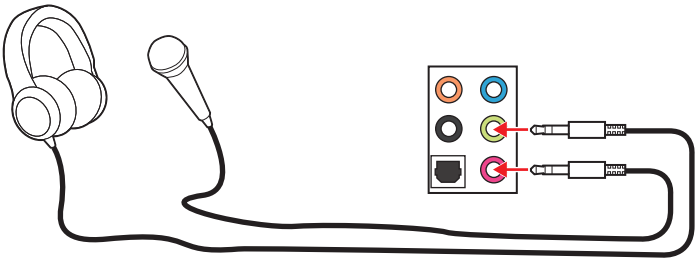
リンク/ アクティビティLED	
状態	説明
Off	リンクしていません
黄色	リンクしています
点滅	データ通信中です



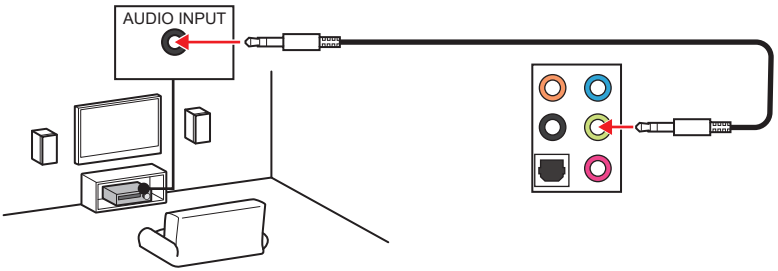
スピードLED	
状態	スピード
Off	10 Mbps
緑色	100/ 1000 Mbps
オレンジ	2.5 Gbps

オーディオジャックの接続

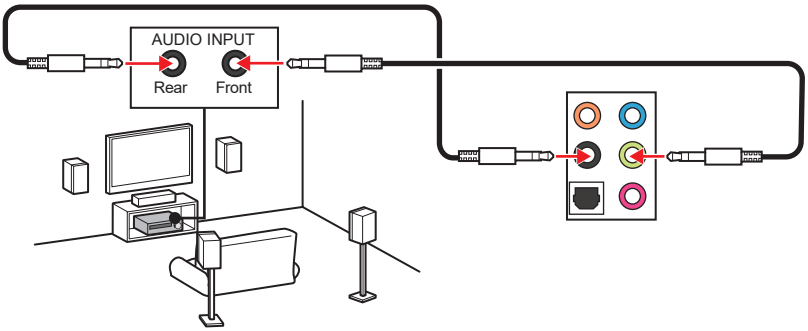
ヘッドフォンとマイクの接続方法



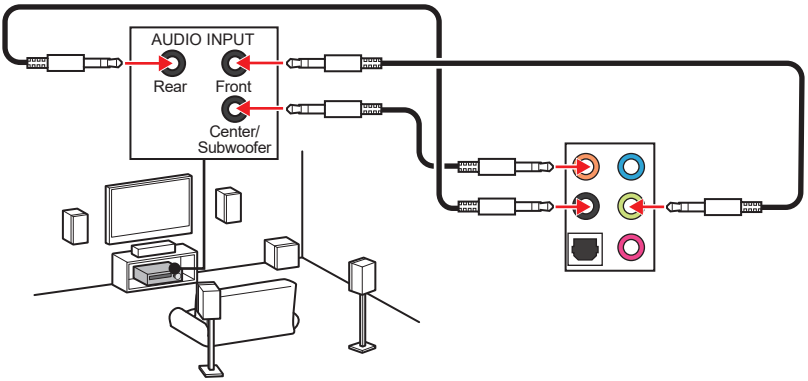
ステレオスピーカーの接続方法



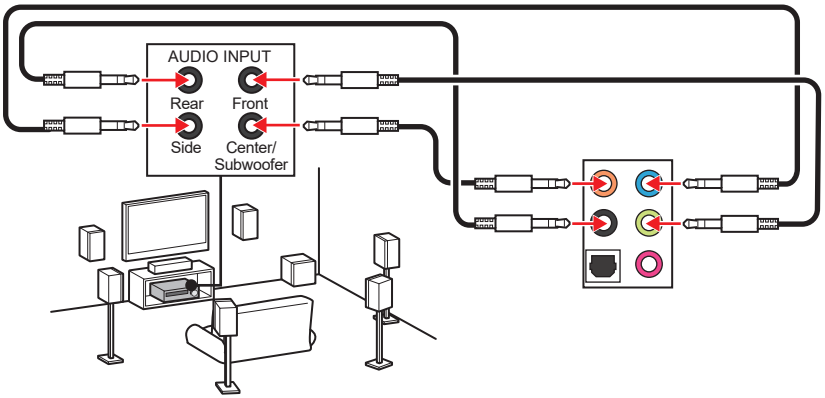
4チャンネルスピーカーの接続方法



5.1チャンネルスピーカーの接続方法

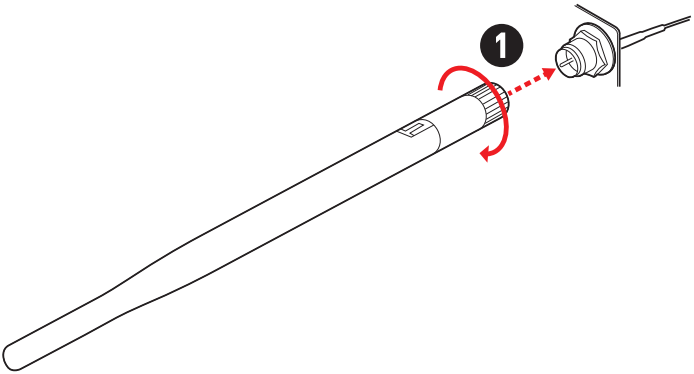


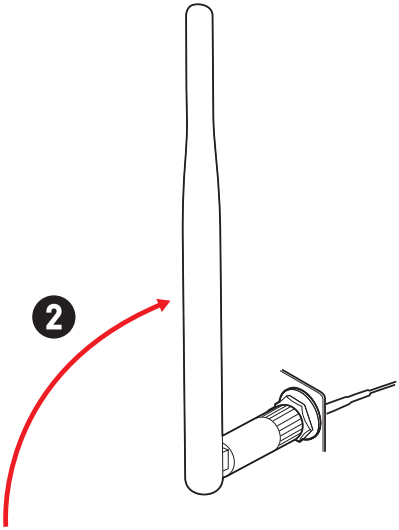
7.1チャンネルスピーカーの接続方法



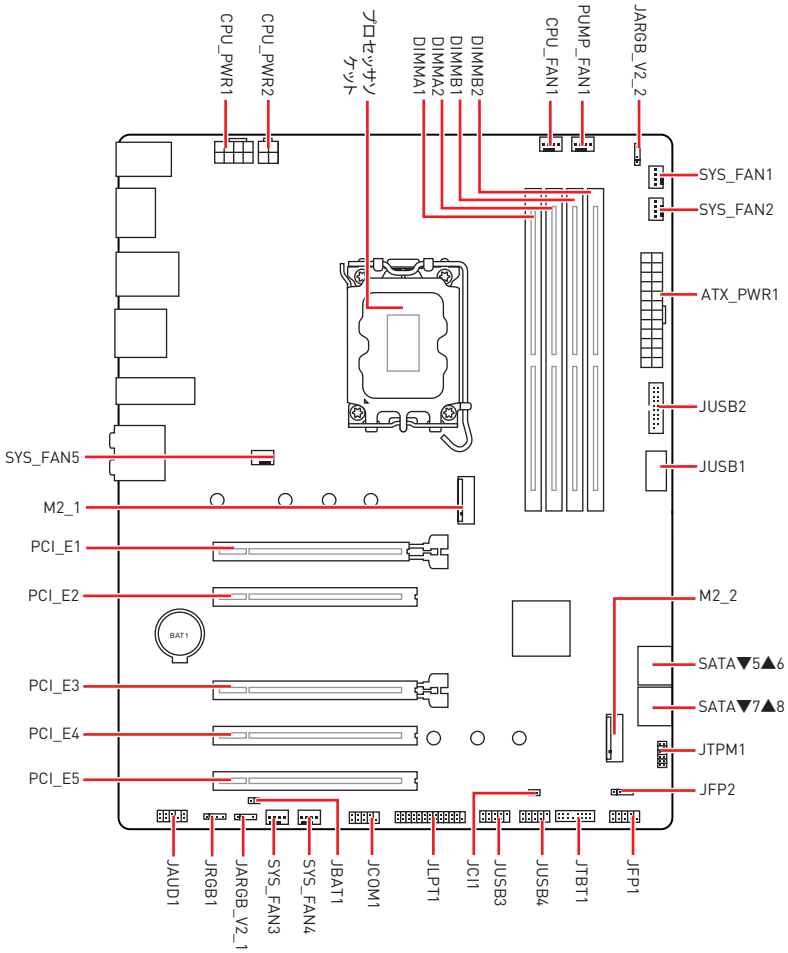
アンテナの取り付け

1. 下図のようにアンテナをしっかりとアンテナコネクターに固定します。
2. アンテナを正しい位置に置きます。

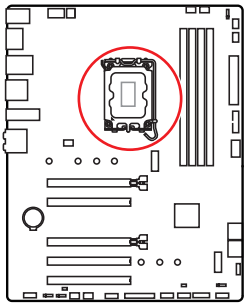


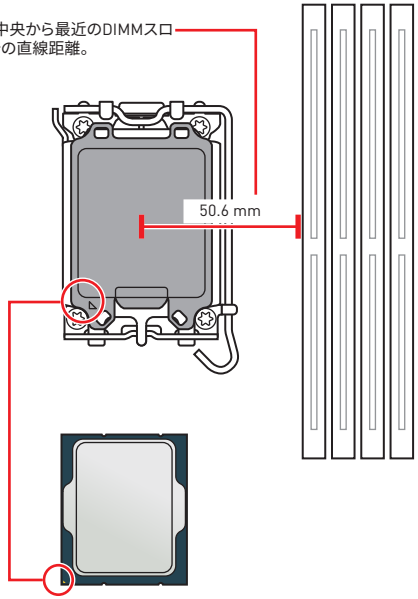


コンポーネントの概要


JARGB_V2_2
PUMP_FAN1
CPU_FAN1
DIMMB2
DIMMB1
DIMMA2
DIMMA1
プロセッサソケット
CPU_PWR2
CPU_PWR1
SYS_FAN1
SYS_FAN2
ATX_PWR1
JUSB2
JUSB1
M2_2
SATA▼5▲6
SATA▼7▲8
JTPM1
JFP2
JFP1
JTBT1
JUSB4
JUSB3
JCI1
JLPT1
JCOM1
JBAT1
SYS_FAN4
SYS_FAN3
JARGB_V2_1
JRGB1
JAUD1
SYS_FAN5
M2_1
PCI_E1
PCI_E2
PCI_E3
PCI_E4
PCI_E5
BAT1

CPUソケット





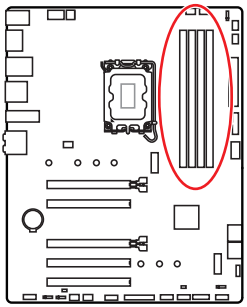
LGA1700 CPUについて

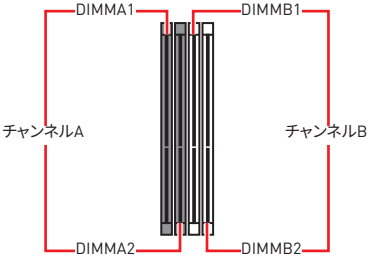
LGA1700 CPUには**切り欠き**が4個、**黄色い三角印**一個があります。黄色い三角印の方向をピン1の方向に向けて装着します。

注意

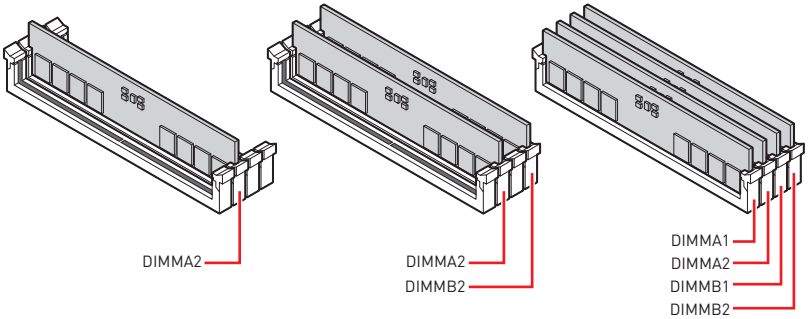
- *CPUの脱着は、必ず電源をオフにし、コンセントから電源ケーブルを抜いてから行ってください。*
- *CPUを取り付けた後、CPUソケットに取り付けられていたCPUソケットカバーは絶対に捨てないでください。本製品の修理を依頼される際に、CPUソケットカバーがCPUソケットに取り付けられていない場合は修理をお断りすることがございます。*
- *CPUを取り付ける際は、必ずCPUクーラーも取り付けてください。CPUクーラーは過熱を防ぎ、システムの安定を保つために必要です。*
- *システムを起動する前に、CPUクーラーがCPUとしっかりと密着していることを確認してください。*
- *CPUの過熱はCPU自身やマザーボードに深刻なダメージを与えるおそれがあります。システム組み立て後初回起動時に必ずCPUファンが正常に動作していることを確認してください。CPUクーラーをマザーボードへ装着する際、CPUとの接触面に適切な量の熱伝導性ペーストを塗布するか、または熱伝導性シートを挟んでください。*
- *CPUを外した状態でマザーボードを保管する場合は、必ずCPUソケットカバーを装着し、ソケットのピンを保護してください。*
- *CPUとは別にCPUクーラーを購入された場合は、CPUクーラーに添付されている文書を参照して取り付け方法の詳細を確認して下さい。*
- *このマザーボードはオーバークロックをサポートしています。オーバークロックを試みる前に、マザーボード以外のすべてのパーツがオーバークロックに耐えうるか確認してください。製品の仕様を超えるいかなる試みも推奨しません。製品の仕様を超えた不適切な取り扱いによって生じた損害やリスクをMSIは保証しません。*

DIMMスロット





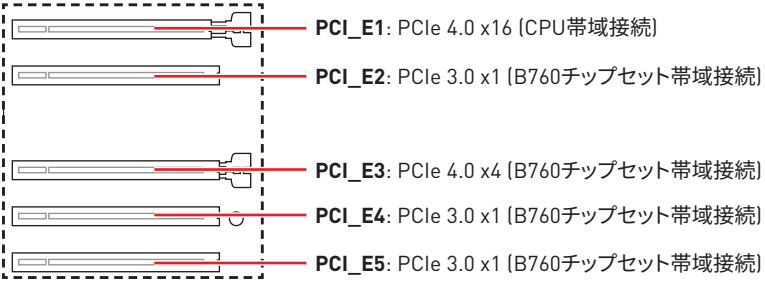
メモリモジュールの推奨取付順序



注意

- *メモリスロットは**DIMMA2**を最優先に使用して下さい。*
- *デュアルチャンネルモードでのシステムの安定性を確保するためには、同一メーカーの同一メモリモジュールを装着する必要があります。*
- *メモリの動作周波数はSPDに依存するため、オーバークロックの際に公称値より低い周波数で動作するメモリがあります。メモリを公称値かそれ以上の周波数で動作させたい場合は、BIOSメニューの**DRAM Frequency**の項目で動作周波数を設定してください。*
- *全てのDIMMスロットを使用する場合やオーバークロックをする場合はより効率的なメモリ冷却システムの使用をお薦めします。*
- *オーバークロック時の、メモリの安定性と互換性は取り付けられたCPUとデバイスに依存します。*
- *互換性があるのメモリについての詳細はwww.msi.comからご参照ください。*

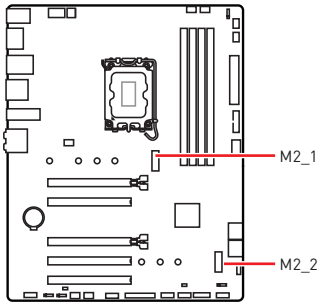
PCI_E1~5: PCIe拡張スロット



注意

- *大型且つ重いグラフィックスカードをインストールすると、スロットの変形を防止するために、**MSI Graphics Card Bolster**のようなツールを使用することが必要です。*
- *一枚のPCIe x16拡張カードを最適な性能で動作させたい場合は、**PCI_E1**スロットの使用をお勧めします。*
- *拡張カードの着脱は、必ず電源をオフにし、コンセントから電源ケーブルを抜いてから行ってください。ハードウェアまたはソフトウェアにどのような変更が必要であるかは、拡張カードのドキュメントでご確認ください。*

M2_1~2: M.2スロット (Key M)

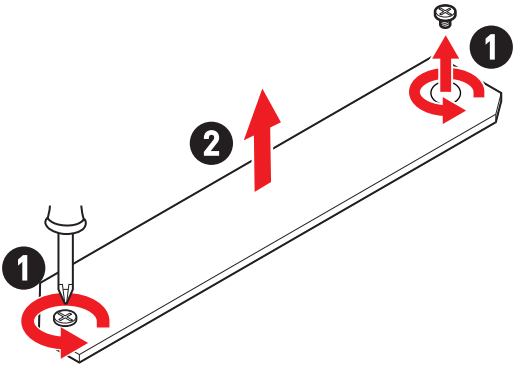


注意

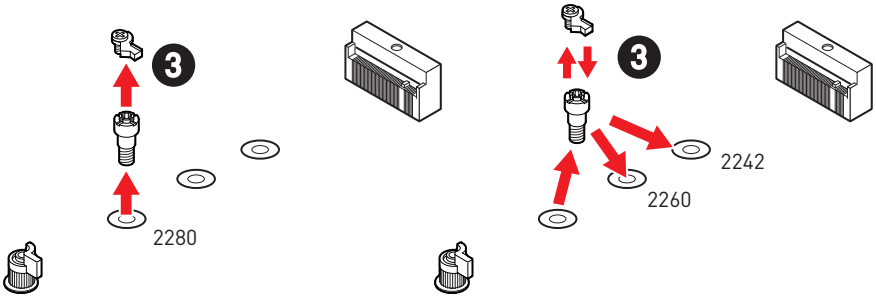
- *Intel® RSTはUEFI ROM付きのPCIe M.2 SSDのみをサポートします。*
- *M.2 SSDはヒートシンクを搭載している場合、M.2スロットのM.2ゴムキューブを取り外してからM.2 SSDを取り付けてください。マザーボードに供給のヒートシンクを再度取付ける必要はありません。*

M2_1スロットへのM.2モジュールの取り付け

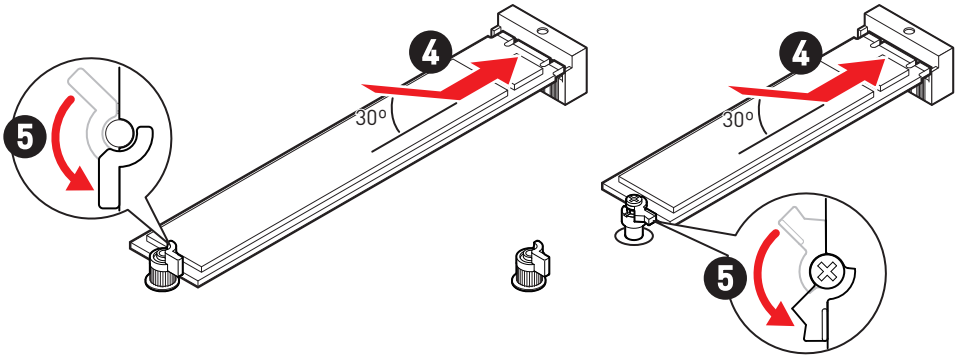
1. M.2 Shield Frozrヒートシンクのねじを緩めます。
2. M.2 Shield Frozrヒートシンクを持ち上げ、取り外します。



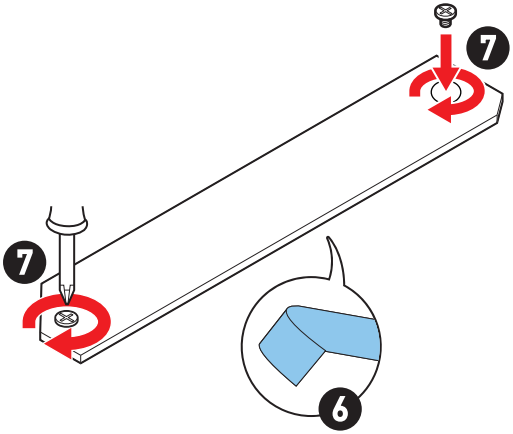
3. SSDの長さによってねじを取り外しますか、または交換します。2280 SSDが取り付けられている場合はこのステップを飛ばします。



4. 30°の角度でM.2 SSDをM.2スロットに挿入します。
5. EZ M.2クリップを回してM.2 SSDを固定します。

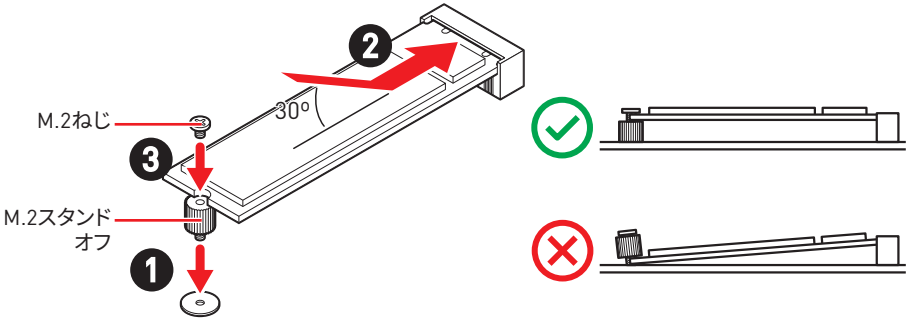


6. 底面のM.2 Shield Frozrヒートシンクの放熱パッドから保護膜を取り外します。
7. M.2 Shield Frozrヒートシンクをヒートシンクスタンドオフに固定します。



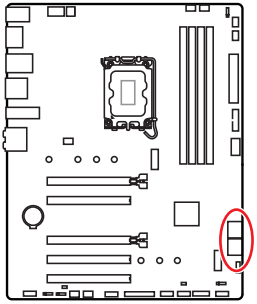
M2_2スロットへのM.2モジュールの取り付け

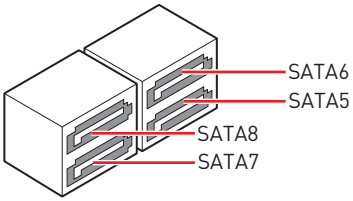
1. SSDの長さによって供給のM.2スタンドオフをM.2スロットに取り付けます。
2. 30°の角度でM.2 SSDをM.2スロットに挿入します。
3. 供給のM.2ねじでM.2 SSDを固定します。



SATA5~8: SATA 6Gb/sコネクター

これらのコネクターはSATA 6Gb/sインターフェースポートです。一つのコネクターにつき、一つのSATAデバイスを接続できます。



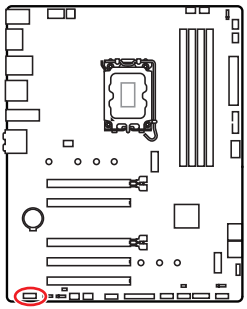


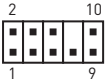
注意

- *SATAケーブルは90度以下の角度に折り曲げないでください。データ損失を起こす恐れがあります。*
- *SATAケーブルは両端に同一のプラグを備えています。然し、スペースの確保のためにマザーボードにはストレートタイプのコネクタを接続されることをお薦めします。*

JAUD1: フロントオーディオコネクター

このコネクターにはフロントパネルのオーディオジャックを接続します。

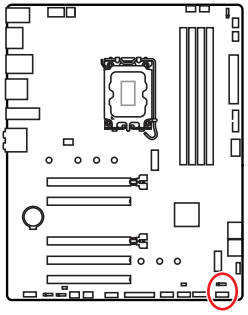


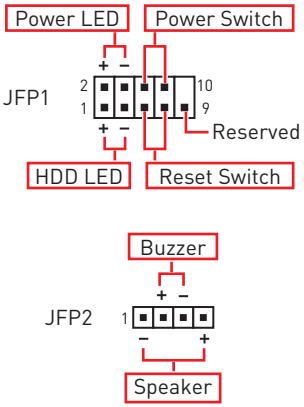


ピン	信号名	ピン	信号名
1	MIC L	2	Ground
3	MIC R	4	NC
5	Head Phone R	6	MIC Detection
7	SENSE_SEND	8	No Pin
9	Head Phone L	10	Head Phone Detection

JFP1, JFP2: フロントパネルコネクター

JFP1コネクターは電源オン、電源リセット、PCケースのLEDをコントロールします。Power Switch/ Reset Switchヘッダーには電源ボタン/ リセットボタンを接続します。Power LEDヘッダーにはPCケースのLEDを接続します。HDD LEDヘッダーはハードディスクの状態を示します。JFP2コネクターはBuzzerとSpeakerに対応しています。PCケースからケーブルを正しく接続するには、下記の図をご参照ください。



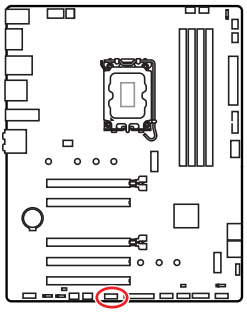


注意

Power LEDとHDD LEDはプラスとマイナスの区別があり、マザーボード上の対応するプラスとマイナスのピンヘッダーにケーブルを接続する必要があります。正しく接続されていない場合、LEDは正常に動作しませんのでご注意ください。

JCOM1: シリアルポートコネクター

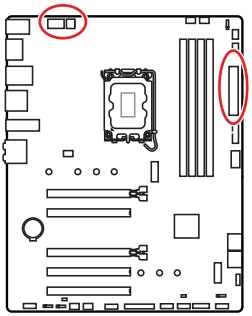
このコネクターにはオプションのブラケット付きのシリアルポートを接続します。



ピン	信号名	ピン	信号名
1	DCD	2	SIN
3	SOUT	4	DTR
5	Ground	6	DSR
7	RTS	8	CTS
9	RI	10	No pin

CPU_PWR1~2, ATX_PWR1: 電源コネクター

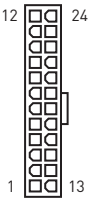
これらのコネクターにはATX電源を接続します。



CPU_PWR1

CPU_PWR2

ATX_PWR1



CPU_PWR1

ピン	信号名	ピン	信号名
1	Ground	2	Ground
3	Ground	4	Ground
5	+12V	6	+12V
7	+12V	8	+12V

CPU_PWR2

ピン	信号名	ピン	信号名
1	Ground	2	Ground
3	+12V	4	+12V

ATX_PWR1

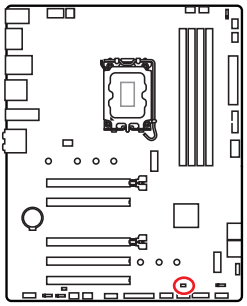
ピン	信号名	ピン	信号名
1	+3.3V	2	+3.3V
3	Ground	4	+5V
5	Ground	6	+5V
7	Ground	8	PWR OK
9	5VSB	10	+12V
11	+12V	12	+3.3V
13	+3.3V	14	-12V
15	Ground	16	PS-ON#
17	Ground	18	Ground
19	Ground	20	Res
21	+5V	22	+5V
23	+5V	24	Ground

注意

マザーボードの安定した動作を確実にするために、全ての電源ケーブルが適切なATX電源ユニットにしっかりと接続されていることを確認して下さい。

JCI1: ケース開放スイッチコネクター

このコネクターにはケース開放スイッチケーブルを接続します。



正常
(デフォルト)

ケース開放イベントト
リガー有効

ケース開放検知機能の使い方

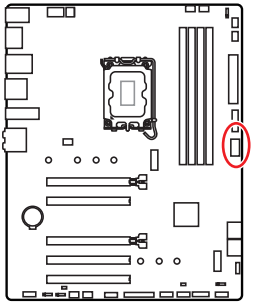
1. **JCI1**コネクターをケース開放スイッチ/センサーに接続します。
2. ケースのカバーを閉じます。
3. **BIOS > SETTINGS > Security > Chassis Intrusion Configuration**に入ります。
4. **Chassis Intrusion**を**Enabled**に設定します。
5. **F10**を押すと、設定を保存して終了するかメッセージが出ますので、**Enter**キーを押して**Yes**を選択します。
6. ケースが開けられるとシステムに開放の情報が記録され、次回のシステム起動時に警告メッセージが表示されます。

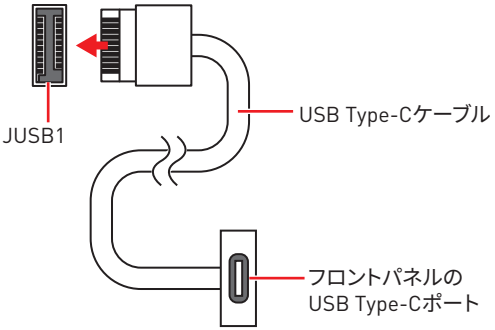
ケース開放警告のリセット

1. **BIOS > SETTINGS > Security > Chassis Intrusion Configuration**に入ります。
2. **Chassis Intrusion**を**Reset**に設定します。
3. **F10**を押すと、設定を保存して終了するかメッセージが出ますので、Enterキーを押して**Yes**を選択します。

JUSB1: USB 3.2 Gen 1 Type-Cフロントパネルコネクター

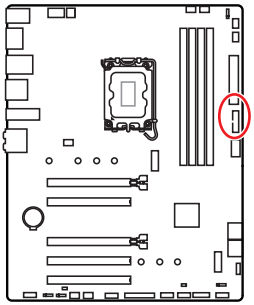
このコネクターにはフロントパネルのUSB 3.2 Gen 1 5Gbps Type-Cコネクターを接続します。これらのコネクターは確実なデザインを持っています。ケーブルを接続すると、対応方向で接続することを確認してください。

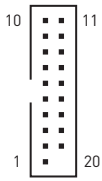




JUSB2: USB 3.2 Gen 1コネクター

このコネクターにはフロントパネルのUSB 3.2 Gen 1 5Gbpsポートを接続します。





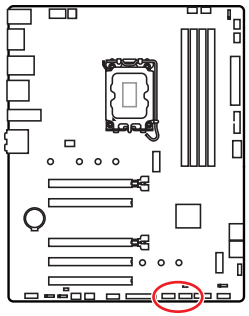
ピン	信号名	ピン	信号名
1	Power	2	USB3_RX_DN
3	USB3_RX_DP	4	Ground
5	USB3_TX_C_DN	6	USB3_TX_C_DP
7	Ground	8	USB2.0-
9	USB2.0+	10	Ground
11	USB2.0+	12	USB2.0-
13	Ground	14	USB3_TX_C_DP
15	USB3_TX_C_DN	16	Ground
17	USB3_RX_DP	18	USB3_RX_DN
19	Power	20	No Pin

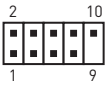
注意

電源とグランドピンは必ず接続してください。正しく接続されていない場合、機器が損傷するおそれがあります。

JUSB3~4: USB 2.0コネクター

これらのコネクターにはフロントパネルのUSB 2.0ポートを接続します。





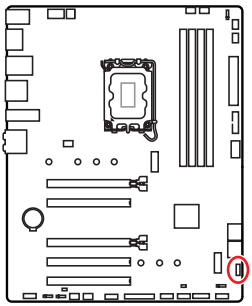
ピン	信号名	ピン	信号名
1	VCC	2	VCC
3	USB0-	4	USB1-
5	USB0+	6	USB1+
7	Ground	8	Ground
9	No Pin	10	NC

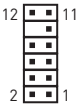
注意

- *VCCピンとグランドピンは必ず接続してください。正しく接続されていない場合、機器が損傷するおそれがあります。*
- *これらのUSBポートでiPad、iPhoneとiPodを再充電するには、MSI Centerユーティリティをインストールしてください。*

JTPM1: TPMモジュールコネクター

このコネクターはTPM (Trusted Platform Module)を接続します。詳細についてはTPMセキュリティプラットホームマニュアルを参照して下さい。

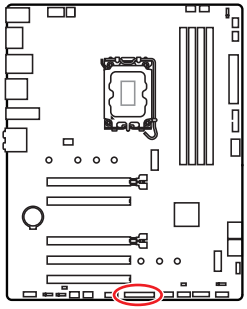


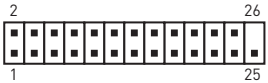


ピン	信号名	ピン	信号名
1	SPI Power	2	SPI Chip Select
3	Master In Slave Out (SPI Data)	4	Master Out Slave In (SPI Data)
5	Reserved	6	SPI Clock
7	Ground	8	SPI Reset
9	Reserved	10	No Pin
11	Reserved	12	Interrupt Request

JLPT1: パラレルポートコネクター

このコネクターにはオプションのブラケット付きのパラレルポートを接続します。

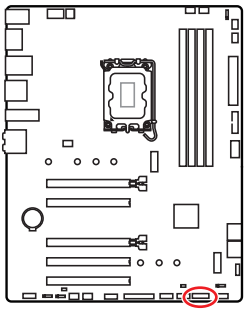


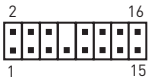


ピン	信号名	ピン	信号名
1	RSTB#	2	AFD#
3	PRND0	4	ERR#
5	PRND1	6	PINIT#
7	PRND2	8	LPT_SLIN#
9	PRND3	10	Ground
11	PRND4	12	Ground
13	PRND5	14	Ground
15	PRND6	16	Ground
17	PRND7	18	Ground
19	ACK#	20	Ground
21	BUSY	22	Ground
23	PE	24	Ground
25	SLCT	26	No Pin

JTBT1: Thunderbolt追加カードコネクター

このコネクターは追加のThunderbolt I/Oカードを接続します。





ピン	信号名	ピン	信号名
1	TBT_FORCE_PWR	2	TBT_S0IX_ENTRY_REQ
3	TBT_CIO_PLUG_EVENT#	4	TBT_S0IX_ENTRY_ACK
5	SLP_S3#_TBT	6	TBT_PSON_OVERRIDE_N
7	SLP_S5#_TBT	8	No Pin
9	Ground	10	SMBCLK_VSB
11	DG_PEWAKE#	12	SMBDATA_VSB
13	TBT_RTD3_PWR_EN	14	Ground
15	TBT_CARD_DET_R#	16	PD_IRQ#

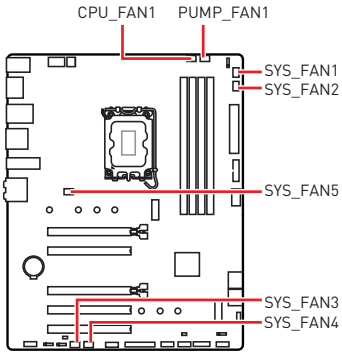
CPU_FAN1, PUMP_FAN1, SYS_FAN1~5: ファンコネクター

ファンコネクターはPWM (パルス幅変調)モードとDCモードに分類されます。PWMモードファンコネクターには常時12Vが出力されており、スピードコントロール信号によってファンスピードを調整します。DCモードファンコネクターは電圧出力を変えることでファンスピードをコントロールします。

BIOS> HARDWARE MONITORパネルで、ファンをコントロールします。DCまたはPWMをファンタイプに設定することができます。**スマートファンモード**をチェックすると、ファンの速度はCPUまたはシステムの温度によって変わります。**スマートファンモード**のチェックを外すと、ファンは最大速度で動作します。

注意

PWM/ DCモードを切り替えた後、ファンが正しく動作していることを確認してください。



PWMモードのピンの定義

ピン	信号名	ピン	信号名
1	Ground	2	+12V
3	Sense	4	Speed Control Signal

DCモードのピンの定義

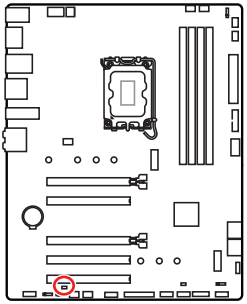
ピン	信号名	ピン	信号名
1	Ground	2	Voltage Control
3	Sense	4	NC

ファンコネクターの仕様

コネクター	デフォルトファンモード	最大電流	最大電源
CPU_FAN1	PWMモード	2A	24W
PUMP_FAN1	PWMモード	3A	36W
SYS_FAN1~5	DCモード	1A	12W

JBAT1: クリアCMOS (BIOSリセット) ジャンパー

本製品はシステムの設定情報を保持するCMOSメモリを搭載しており、マザーボード上のボタン型電池から電力が供給されます。システムの設定をクリアしたい場合は、CMOSメモリをクリアするためにジャンパピンにジャンパブロックを取り付けてください。



データを
保持
(デフォルト)

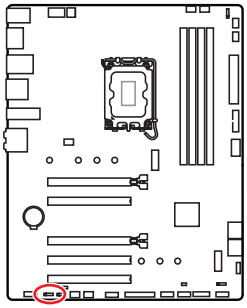
CMOSをクリア/
BIOSをリセット

BIOSをデフォルト値にリセットする

1. PCの電源をオフにし、コンセントから電源コードを抜いて下さい。
2. ジャンパブロックで**JBAT1**を5-10秒ぐらいショットします。
3. **JBAT1**からジャンパブロックを取り外します。
4. 電源コードをコンセントに元通りに接続し、電源を投入します。

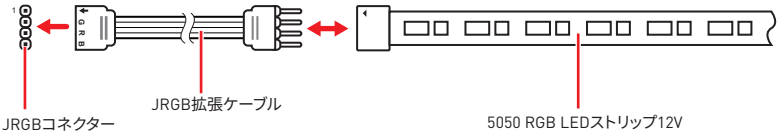
JRGB1: RGB LEDコネクター

JRGBコネクターは5050 RGB LEDストリップ12Vを接続します。

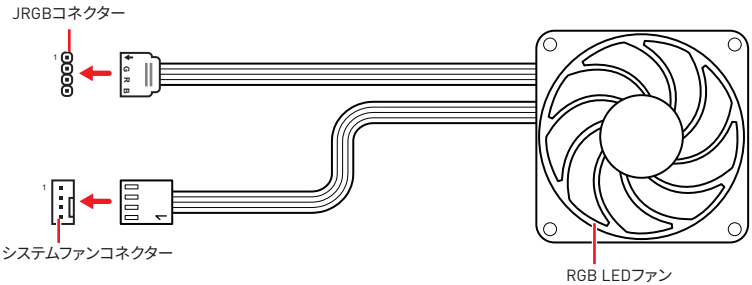


ピン	信号名	ピン	信号名
1	+12V	2	G
3	R	4	B

RGB LEDストリップコネクター



RGB LEDファンコネクター

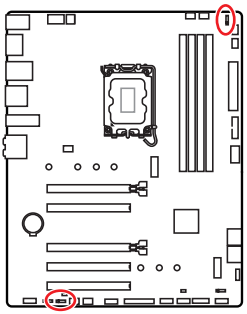


注意

- *JRGBコネクターは長さ2m以下のものを御使用ください。定格最大出力は3A (12V)で、5050 RGB LEDストリップ(12V/G/R/B)をサポートします。*
- *RGB LEDストリップの着脱は、必ず電源ユニットのスイッチをオフにして電源コードを抜いた状態で実施してください。*
- *MSIのソフトウェアで拡張 LEDストリップをコントロールします。*

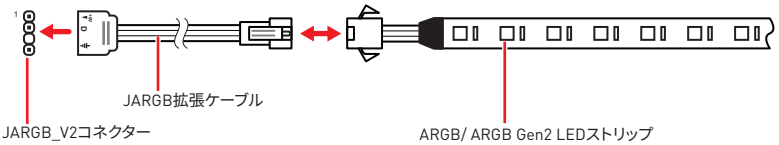
JARGB_V2_1~2: A-RAINBOW V2 (ARGB Gen2) LEDコネクター

JARGB_V2コネクターはARGB Gen2とARGB LEDストリップを接続することができます。JARGB_V2コネクターの定格最大出力は3A (5V)で、240個々にアドレス指定可能なRGB LEDをサポートします。

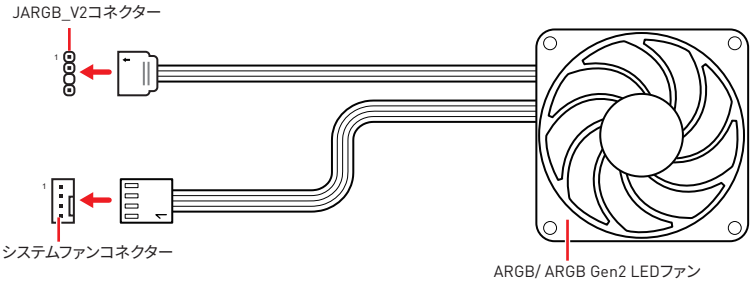


ピン	信号名	ピン	信号名
1	+5V	2	Data
3	No Pin	4	Ground

アドレス指定可能なRGB LEDストリップコネクター



アドレス指定可能なRGB LEDファンコネクター



警告

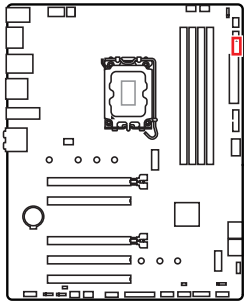
間違ったタイプのLEDストリップを接続しないでください。JRGBコネクターとJARGB_V2コネクターは異なる電圧を供給し、ARGB 5V LEDストリップをJRGBコネクターに接続すると、LEDストリップが損傷します。

注意

- *鮮やかなLEDライティング効果を得るためには、同規格のRGBデバイスで統一することを強く推奨いたします。*
- *アドレス指定可能なRGB LEDストリップの着脱は、必ず電源ユニットのスイッチをオフにして電源コードを抜いた状態で実施してください。*
- *MSIのソフトウェアで拡張 LEDストリップをコントロールします。*

EZ Debug LED

これらのLEDはメモリモジュールが取り付けられたことを表示します。



CPU - CPUが検出されないか、または認識に失敗したことを示します。

DRAM - DRAMが検出されないか、または認識に失敗したことを示します。

VGA - GPUが検出されないか、または認識に失敗したことを示します。

BOOT - ブートデバイスが検出されないか、または認識に失敗したことを示します。

OS、ドライバーおよびMSI Centerのインストール

www.msi.comから最新のユーティリティとドライバーをダウンロードしてアップデートしてください。

Windows 10 / Windows 11のインストール

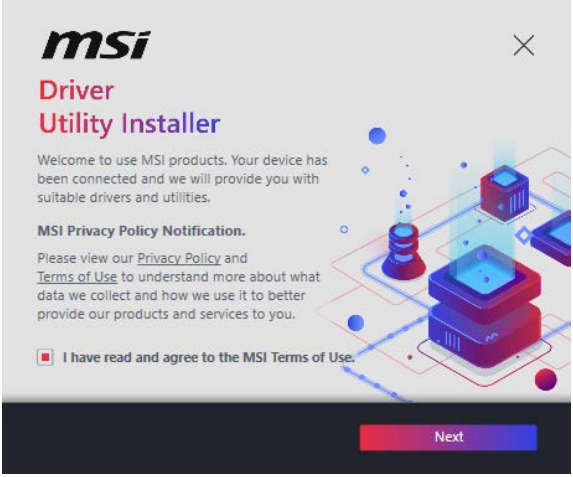
1. PCの電源をオンにします。
2. Windows 10 / Windows 11のインストールメディアを光学ドライブに挿入します。
3. PCケースの**Restart**ボタンを押します。
4. POST (Power-On Self Test)中に**F11**キーを押し、ブートメニューに入ります。
5. ブートメニューから光学ドライブを選択します。
6. **Press any key to boot from CD or DVD...** というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。(スペースキーやEnterキーが無難です。) 表示されない場合、このステップを飛ばします。
7. 画面に表示される説明に従ってWindows 10 / Windows 11をインストールします。

MSI Driver Utility Installerでのドライバーのインストール

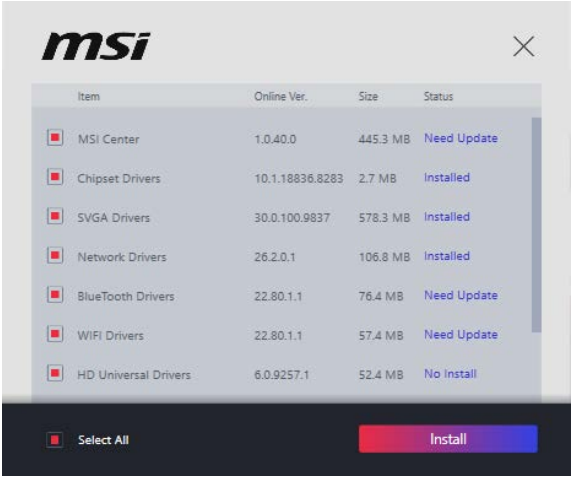
注意

- *新しいネットワークチップの中には、Windows 10/ Windows 11にネイティブに対応していないものがあります。MSI Driver Utility Installerでドライバーをインストールする前に、LANドライバーをインストールすることを推薦します。LANドライバーのインストールについてはwww.msi.comからご参照ください。*
- *MSI Driver Utility Installerは一度だけポップアップします。インストール中にMSI Driver Utility Installerをキャンセルしたり閉じたりした場合は、MSI CenterマニュアルのLive Updateの章を参照して、ドライバーをインストールしてください。www.msi.comからマザーボードを検索し、ドライバーをダウンロードすることもできます。*
- *MSI Driver Utility Installerはインターネットでインストールする必要があります。*

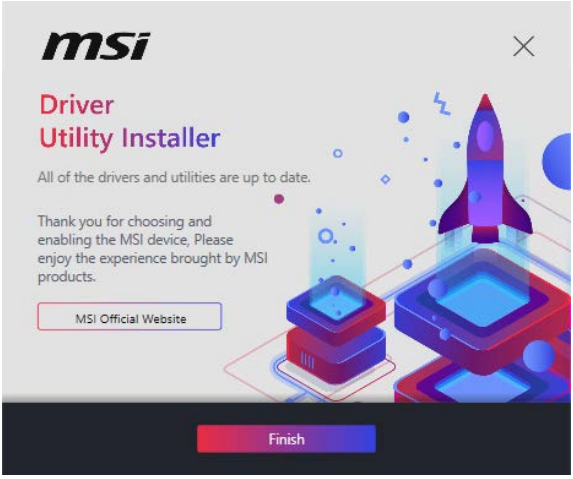
1. Windows 10/ Windows 11を起動させます。
2. **スタート** > **設定** > **Windows Update**を選択し、更新プログラムの**確認**をクリックします。
3. MSI Driver Utility Installerは自動的にポップアップします。



4. **I have read and agree to the MSI Terms of Use**チェックボックスを選択し、**Next**をクリックします。



5. 左下の**Select All**チェックボックスをチェックして**Install**をクリックし、MSI Centerとドライバーをインストールします。インストールの進行状況は下部に表示されます。



6. インストールが完了したら、**Finish**をクリックします。

MSI Center

MSI Centerはゲーム設定の最適化とコンテンツ作成ソフトの使用に役立つアプリケーションです。また、PCや他のMSI製品のLEDライトの効果を操作し、同期することができます。MSI Centerにより、モードをカスタマイズしたり、システムを管理やファンの回転速度を調整したりできます。

MSI Centerユーザーズガイド

MSI Centerの詳細情報は、

http://download.msi.com/manual/mb/MSICENTER.pdf

またはQRコードからアクセスしてください。

注意

機能はご購入した製品によって異なる場合がります。

UEFI BIOS

MSI UEFI BIOSはUEFI (Unified Extensible Firmware Interface)アーキテクチャと互換性があります。UEFIは、従来のBIOSでは実現できない新機能と利点を多く持っています、将来は完全にBIOSに取って代わることができます。MSI UEFI BIOSは、デフォルトのブートモードとしてUEFIを使用し、新しいチップセットの機能を最大限に活用することができます。

注意

ほかの説明がない限り、本ユーザマニュアルの用語のBIOSはUEFI BIOSを指します。

UEFIの利点

- クイック起動 - UEFIは直接にオペレーティングシステムを起動し、BIOSセルフテストプロセスを保存することができます。また、POST時にCSMモードに切り替えにかかる時間も排除します。
- 2 TBより大きいハードディスクドライブパーティションをサポートします。
- GUID Partition Table (GPT) 付きのプライマリパーティションを4つ以上にサポートします。
- 無制限のパーティションをサポートします。
- 新しいデバイスの全機能をサポート - 新しいデバイスは互換性がない場合があります。
- セキュリティ起動をサポート - UEFIは、オペレーティングシステムの有効性をチェックして、起動プロセスにはマルウェアがないことを確認します。

互換性のないUEFIケース

- **32ビットWindowsオペレーティングシステム** - このマザーボードはWindows 10/ Windows 11 64ビットオペレーティングシステムのみをサポートします。
- **古いグラフィックカード** -システムはグラフィックカードを検出します。古いグラフィックカードを使用すると、**このグラフィックカードにはGOP (Graphics Output Protocol)サポートを検出できません**の警告メッセージが表示されます。

注意

正常な機能を持つために、GOP / UEFI対応のグラフィックスカードに置き換えるか、CPUの統合グラフィックスを使用することを推奨いたします。

BIOSモードを確認する方法

1. PCの電源をオンにします。
2. 起動中に、「**Press DEL key to enter Setup Menu, F11 to enter Boot Menu**」というメッセージが表示されている間に＜**Delete**＞キーを押してください。
3. BIOSに入ったら、画面上部に**BIOSモード**があります。

BIOS Mode: **UEFI**

BIOSの設定

BIOSのデフォルト設定は、通常の使用においてシステムの安定性のために最適な性能を提供します。ユーザーがBIOSに精通していない場合は、起こり得るシステムへのダメージや起動の失敗を防ぐために、**常にデフォルト設定のまま**にすべきです。

注意

- *BIOSは性能の向上のために、継続的に変更と修正が行われています。最新のBIOSと本書の内容に齟齬が発生してしまう場合があります。あらかじめご承知おきください。BIOSの設定項目の詳細は**HELP**情報パネルを参照してください。*
- *BIOSの画面、オプションと設定はシステムにより異なる場合があります。*

BIOSセットアップ画面の起動

起動中に、「**Press DEL key to enter Setup Menu, F11 to enter Boot Menu**」というメッセージが表示されている間に＜**Delete**＞キーを押してください。

機能キー

F1: ヘルプを参照する

F2: お気に入り項目を追加/ 削除する

F3: お気に入りメニューに入る

F4: CPU仕様メニューに入る

F5: Memory-Zメニューに入る

F6: 工場出荷時の設定値に戻す

F7: アドバンストモードとEZモードの間に切り替える

F8: OCプロファイルをロードする

F9: OCプロファイルをセーブする

F10: 設定を保存して再起動させる*

F12: スクリーンショットが撮られ、USBメモリに保存されます (FAT/ FAT32フォーマットのみ)

Ctrl+F: 検索ページに入る

* <F10>キーを押すと確認ウィンドウが表示され、修正情報が表示されます。YesまたはNoを選択して確認してください。

BIOSユーザーズガイド

BIOSの設定の他の説明は、
http://download.msi.com/manual/mb/Intel700BIOSjp.pdf
またはQRコードからアクセスしてください。

注意

機能はご購入した製品によって異なる場合がります。

BIOSのリセット

特定の問題を解決するために、BIOSをデフォルト設定に戻す必要があります。BIOSのリセットにはいくつかの方法があります。

- BIOSセットアップ画面で<**F6**>キーを押して工場出荷時の設定値に戻します。
- マザーボード上の**クリアCMOS**ジャンパをショートする。

注意

*CMOSデータをクリアする前に、必ずPCの電源がオフにすることを確認してください。BIOSのリセットについては**クリアCMOS**ジャンパセクションをご参照ください。*

BIOSのアップデート方法

M-FLASHでのBIOSアップデート

アップデートの前に:

MSIのWEBサイトから最新のBIOSファイルをダウンロードし、USBメモリのルートフォルダにコピーします。

BIOSのアップデート:

1. マルチBIOSスイッチで標的BIOS ROMにスイッチします。マザーボードにこのスイッチがない場合は、このステップを飛ばします。
2. アップデートするBIOSイメージファイルを含むUSBメモリをマザーボードのUSBポートに挿入します。
3. 下記の方法でフラッシュモードに入ります。
   - POST中に<**Ctrl + F5**>キーを押して、Yesをクリックしてシステムを再起動させます。

     Press <Ctrl+F5> to activate M-Flash for BIOS update.

   - POST中に<**Delete**>キーを押してBIOSセットアップ画面に入ります。**M-FLASH**タブを選択し、Yesをクリックしてシステムを再起動させます。

4. BIOSイメージファイルを一つ選択し、BIOSアップデートのプロセスを開始させます。
5. ユーザーが促されると、**Yes** をクリックしてBIOSを回復します。
6. アップデートプロセスが完了した後、システムが自動的に再起動します。

MSI CenterでのBIOSアップデート

アップデートの前に:

- LANドライバーがインストールされ、インターネット接続が正しく設定されていることを確認してください。
- アップデートする前に、他のアプリケーションソフトをすべて閉じてください。

BIOSのアップデート:

1. MSI CENTERをインストールして起動させて、**Support**ページに入ります。
2. **Live Update**を選択して、**Advanced**ボタンをクリックします。
3. BIOSファイルを選択して、**Install**ボタンをクリックします。
4. インストールのリマインダーが表示されると、**Install**ボタンをクリックします。
5. システムが自動的に再起動してBIOSのアップデートを始めます。
6. アップデートプロセスが完了した後、システムが自動的に再起動します。